

見て、感じて、楽しんで、学ぼう!!

第6回 みらいバス

ふくしまを知る 1泊2日 スタディツアー

ふくしまの沿岸部って今どうなってるの?

現状と復興に向けた歩みを知る

～福島第一原発20km圏内の浪江町・富岡町・楡葉町の今を見つめて～

今回の交流自治体

浪江町・富岡町・楡葉町

沿岸部を1泊2日でまわり、
地域の現状と取り組みを学びます。

地(知)の拠点 ふくしま 未来学

福島第一原子力発電所

23日 土

浪江町

- 町内めぐり
- 農業再生に取り組む「NPO法人Jin」訪問
・うどんづくり、代表の話を伺う
・浪江町若手職員との交流

富岡町

○町内めぐり

楡葉町

- JAEA 楡葉遠隔技術開発センター訪問
・施設見学
・福島第一原発建屋内のバーチャル体験

24日 日

楡葉町

- 天神岬、町内めぐり
- 高久第九応急仮設住宅訪問(いわき市)
・役場職員から話を伺う
・仮設住宅住民との交流

※内容・ルートは一部変更になる場合があります

2016年1月 23日 土 ~ 24日 日

●時 間 集合出発 23日(土) 8:00 (金谷川駅)

解散 24日(日) 18:00頃 (金谷川駅)

●行き先 浪江町→富岡町→楡葉町→いわき市(楡葉町仮設住宅)

●参加費 3000円 ※含 宿泊・食事(23日昼夜、24日朝昼)代
傷害保険・賠償保険などの保険に未加入の方は
ボランティア保険の加入料300円がかかります。

●対 象 学生、教員、職員(先着20名)

●宿 泊 楡葉町 天神岬温泉しおかぜ荘(コテージまたはロッジ)

●持ち物 飲み物、洗面道具、着替え、保険証コピー等

【申し込み】 2016年1月15日(金) 15:00まで

下記URL、またはQRコードから申し込みをお願いします。

<http://kokucheese.com/event/index/361491/>



【要確認】保険に関して

- ・学生は「学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険」もしくは「大学生協生命共済および学生賠償責任保険」に加入しているかご確認ください。
 - ・職員・教員の方は労災適用外となりますので、文部科学省共済組合の団体傷害保険に未加入の方は、ボランティア保険の加入をお願いいたします。
- ※平成27年4月以降にボランティア保険(年度内有効)に加入している方は申込み不要

●主催/お問い合わせ 福島大学 ふくしま未来学推進室事務局(教務課内)

E-mail: miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp

Tel: 024-504-2850

現状と復興に向けた歩みを知る

～福島第一原発20km圏内の浪江町・富岡町・楡葉町の今を見つめて～

実施日

1月23日(土)～24日(日)

1日目 1/23(土) 浪江町 → 富岡町 → 楡葉町(泊)

2日目 1/24(日) 楡葉町 → いわき市(楡葉町応急仮設住宅)

※内容・ルートは一部変更になる場合があります。

●浪江町

人口は約19,000人(震災当時20,143人)。現在も町内全域が避難指示区域です。住民が全国各地に広域分散避難をしながら、地元や避難先において伝統や文化を再生・継承する取り組みが数多く行われています。2013年B-1グランプリでNo.1を獲得した「なみえ焼きそば」や 300年以上の歴史をもつ「大堀相馬焼」などの産品が有名です。

1/23(土)10:00
浪江町内めぐり

浪江町若手職員と交流をしながら、町の現状を知ります。



1/23(土)11:00
「NPO法人Jin」訪問

「故郷の美しい風景を取り戻し、浪江町の農業を復興させたい」と取り組む「NPO法人Jin」を訪問します。収穫した小麦を使ったうどんづくりをとし、故郷への想いと帰町にむけた環境づくりについて考えます。

●富岡町

現在人口約14,000人(震災当時15,830人)。町内全域が避難指示区域で、2017年4月の帰還を目指しています。長年地域住民に親しまれてきた夜の森地区の桜は、一部帰還困難区域となっています。

避難先であるいわき市と郡山市には、常設のサロンが設置され、町民のつながりを保つための仕組みが整えられています。2015年秋には、町内に一時帰宅者の立ち寄り所が設置されています。

1/23(土)15:00
富岡町内めぐり

富岡町は原子力事故による避難指示により、町内は3つの区域に区分されています。避難指示により町内に入ることができなかった期間が長かったことから、震災の傷跡が多数残っていますが、現在では帰還に向けた取り組みや環境整備が始まっています。

町民の案内で町をめぐりながら、町への想いを伺います。



宿泊(楡葉町) 天神岬しおかぜ荘

太平洋を眺められる「楡葉町 天神岬温泉しおかぜ荘」は、地元住民をはじめ多くの方に親しまれてきた場所でした。震災後休業していましたが、2015年9月、避難指示が解除されるとほぼ同時にリニューアルオープン・営業再開しました。



(写真:天神岬スポーツ公園HP)

●楡葉町

人口約7,300人。(震災当時7,800人)の楡葉町では、2015年9月5日に避難指示が解除され、現在戻っている住民は約6%です。

木戸川渓谷では、四季折々の美しい景観が見られ、本州有数のサケの遡上を誇る木戸川では、2015年秋に伝統の「合わせ網漁」が5年ぶりに復活しました。

1/23(土)17:00
JAEA 楡葉遠隔技術開発センター
モックアップ施設訪問・バーチャル体験

第一原発の廃炉作業を円滑にすすめるために必要なロボットを使った遠隔技術研究・試験を行う施設です。

3Dメガネをかけ、バーチャルリアリティで福島第一原発建屋内の模擬空間を体験します。



(写真:広報ならは)

1/24(日)9:00
住民憩いの場「天神岬」/楡葉町内めぐり

震災前、天神岬スポーツ公園の展望台からの眺めは、楡葉町でも随一の有名なビュースポットでした。現在は、津波被害の様子と一面に仮置き場が広がっています。

現地の状況を知ること、避難指示解除後の地域が抱える課題を考えます。



1/24(日)13:00
高久第九応急仮設住宅
訪問・交流

いわき市内にある楡葉町から避難している住民の仮設住宅を訪問します。

地域住民に寄り添い続ける役場職員から現状をい、参加者との交流をとし、帰町に向け何が必要か考えます。

※写真はイメージです